

青少年部会の報告

若槻子どもチャレンジ

青少年部会と地区内育成会は10月30日(日)に体験教室「チャレンジわかつきジュニア体験広場」を開催。幼児から中学生までの子どもと保護者ら250人が参加し、豆腐作りや木工など9つの講座で楽しみました。

子どもたちに手作りの楽しさを体験してもらい、地域の大人と交流を深める目的で毎年開催されています。ビーズストラップや紙飛行機、万華鏡作りなど初めて行う講座も用意し、各講座の講師は地域の名人が務めました。子どもたちは希望のブースを回り、手作り作品に挑戦。友達同士で見せ合うなどして楽しみ、作品を大切に持ち帰りました。



お父さんと一緒に木工づくり

子ども科学体験教室



実験を楽しんでいる子どもたち

今年で3年目を迎えた「こども科学体験」。長野市少年科学センターに出前講座をお願いし、12月3日(土)に稲田徳間地区センターで、4日(日)は若槻コミュニティセンターで開催しました。両会場とも30名を越す子どもたちが参加しました。

静電気を使った実験ショーと電気くらげの製作に2時間半。身近に感じる静電気ですが、そのパワーにびっくり。「科学のため自分の体を犠牲」にして、体に電気を通過させて蛍光灯を点灯させる先生に拍手を送りました。参加してくれた2年生女子は「不思議で楽しかった」と感想を述べてくれました。

(社)コミわかグリーン倶楽部の報告

園児とサツマイモ収穫

10月20日(木)、徳間の直営農地で皐月保育園の園児35人を招きサツマ芋の収穫を行いました。このサツマ芋は5月26日に同園の園児が植え付けたもの。「皆さんが植えた苗がこんなに大きくなりました」との説明のあと全員が手を泥だらけにしながら収穫しました。

つるになって出てきた芋、自分の顔ほどの大きな芋に歓声を上げていました。収穫した芋は1人1個ずつ持ち帰り、残りのコンテナ3箱ほどの芋は11月6日に行われたチャリティバザーに提供しました。



サツマイモ掘りに夢中の園児